

# ヒトゲノム・遺伝子解析研究等に関する情報公開用文書

西暦 2025 年 1 月 20 日作成

<b>研究課題名</b>	泌尿器科領域の腫瘍性疾患の発症、進展、及び薬剤の治療効果に関わる遺伝子の解析
<b>研究の対象</b>	横浜市立大学附属病院泌尿器科および検体提供機関において腫瘍性疾患（副腎、腎、尿管、膀胱、前立腺、精巣、後腹膜等のがん・腫瘍）の診断で手術治療を受けた方 病院にて研究対象となる期間： 年 月～ 年 月
<b>研究目的 ・方法</b>	<p>（目的）これまでの医学研究から、ひとの腫瘍やがんといった病気は、私たちの体を形作っている正常な細胞の中の遺伝子（体や細胞の設計図といえます）に、ごくわずかな変化(異常)が起こることで、発症してくることが分かりつつあります。この研究では上の泌尿器領域の腫瘍の遺伝子の異常を探します。そして腫瘍の病変細胞の遺伝情報と正常な細胞の遺伝情報を比べることにより、なぜ不具合な細胞が生まれ、様々な症状をもたらすのかを詳しく分析し、さらにその病気に対する新しい診断や治療の開発につなげていくことを目的としています。</p> <p>（方法）病気の診断や治療のための手術により摘出され、横浜市立大学附属病院および検体提供機関に保存、保管されている残余検体や採取済みの血液検体を使用します。これらに含まれる遺伝子DNAやそこから作られるRNA、蛋白質などを細かく調べます。ヒトの遺伝子の総数は、全体では2万数千種類あることが分かっていますが、その中のどの遺伝子が具体的に病気と関係しているかは、多くが明らかではありません。そこで関係する可能性のある数多くの遺伝子を調べることとなります。また病気に関係する可能性がある新しい遺伝子が見つかった場合には、その遺伝子についてもさらに詳しく調べる必要があります。解析の際にはあなたの診療記録も使わせていただきます。近年、技術革新が進んだことにより、ヒト一人の持つゲノム（全ての遺伝情報）の個人差と病気との関わりを調べることができるようになりました。これによって、これまで病気の原因やその人個人に最も適切な治療法を調べるのが困難であった疾患についても、個人の遺伝情報のレベルで細かく究明できる可能性が広がっています。なお、病気に関連する遺伝子の研究では、たくさんの専門領域の研究者の方々の協力を得て、数多くの試料を扱い、高度な解析装置を使用し、膨大な量の遺伝情報を国内外の研究者間で広く共有しながら研究を進めていく必要があります。そこでこの研究では、さらなる研究を促進するため、他の研究機関(下記の外部への試料・情報の提供と研究組織を参照)と協力体制を組み、あなたの遺伝情報が誰のものかわからないようにしたうえで、世界中の研究者が閲覧できるデータベースに登録します。遺伝子の研究結果は様々な問題を引き起こす可能性があるため、研究試料の取り扱いを慎重に行う必要があります。具体的にはあなたの試料や診療記録は、分析する前に住所、氏名、生年月日などを削り、代わりに新しく符号をつけこの誰の試料かが分からないようにした上で（これを匿名化といいます）、実際の解析に用います。共同研究として検体や治療経過の情</p>

# ヒトゲノム・遺伝子解析研究等に関する情報公開用文書

	<p>報を他の研究機関に提供して解析を行うこともありますが、その際にもこの匿名化した情報に基づいた解析を行いますので、皆さんの個人情報が外部の研究機関に伝わることはありません。本研究には、大学や病院から配分される研究費あるいは国や公的機関などの競争的研究費、民間企業からの研究寄付金が使われます。民間企業との利益相反関係については、横浜市立大学臨床研究利益相反委員会において、適切に審査・管理されております。本研究で得られた情報は、将来、本研究に関連する別の研究のために利用させていただく可能性があります。その場合には、その計画について別途倫理審査委員会の審査を受け、承認を得た上で使用します。</p>
<p><b>研究期間</b></p>	<p>西暦 2012 年 4 月 1 日 ~ 西暦 2032 年 3 月 31 日</p>
<p><b>研究に用いる試料・情報の種類</b></p>	<p>病気の診断や治療のための手術により摘出され、横浜市立大学附属病院および検体提供機関に保存、保管されている残余検体試料（病気の部分と対の正常部分）とあなたの診療記録も使わせていただきます。</p>
<p><b>外部への試料・情報の提供</b></p>	<p>理化学研究所（横浜市鶴見区末広町 1-7-22）、愛知医科大学（愛知県長久手市岩作雁又 1 番地 1）、東京女子医科大学（東京都新宿区河田町 8-1 西病棟 A 2 階、岐阜大学（岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1）、大阪公立大学（大阪府大阪市阿倍野区旭町 1 丁目 4-3）、東京大学（東京都文京区本郷 7 丁目 3-1）、横浜市立大学附属市民総合医療センター（横浜市南区浦舟町 4-57）、KOTAI バイオテクノロジー株式会社（大阪府吹田市山田丘 2-1 大阪大学 産学共創 B 棟 2 階）、株式会社ジェネティックラボ（札幌市中央区北 9 条西 15 丁目 28 番地 196 札幌 IT フロントビル 3F）、株式会社ケミカル同仁（熊本県熊本市南区流通団地 1 丁目 4-4-2）、Novogene Co. Ltd（中国）、株式会社マクロジェン・ジャパン、タカラバイオ株式会社、生物技研（神奈川県相模原市緑区長竹 6-5-7）、株式会社 Cancer Precision Medicine（神奈川県川崎市川崎区東田町 1-2）へ、あなたの名前、住所、生年月日を含めたすべての個人情報が完全に削られた状態（これを匿名化といいます）で、上記試料および臨床的な経過情報を提供させていただきます。</p>
<p><b>研究組織</b></p>	<p>[ 研究責任者 ] 横浜市立大学附属病院 蓮見壽史          [ 共同研究機関 ] 理化学研究所・中川英刀、愛知医科大学・都築豊徳、東京女子医科大学・長嶋洋治、岐阜大学・松尾政之、大阪公立大学・大江知里、東京大学・山東信介、横浜市立大学附属市民総合医療センター・河原崇司          [ 受託解析機関 ] KOTAI バイオテクノロジー株式会社・山下和男、株式会社ジェネティックラボ・青山倫也、株式会社ケミカル同仁・川上公尋、Novogene Co. Ltd・Hideki Yakushiji、株式会社マクロジェン・ジャパン・安光得、タカラバイオ株式会社・仲尾功一、生物技研・中野江一郎、株式会社 Cancer Precision Medicine・嶋田 順一          [ 検体提供機関 ] 山形大学・内藤整、がん研有明病院・三浦裕司、神奈川県立がんセンター 中井川昇、秋田大学・沼倉一幸、岩手医科大学・加藤廉平、</p>

## ヒトゲノム・遺伝子解析研究等に関する情報公開用文書

②①熊本大学・元島崇信、②②名古屋大学・赤松秀輔、②③東京女子医科大学・石原弘喜、②④愛知医科大学・佐々直人、②⑤東京都立多摩総合医療センター・佐藤悠佑、②⑥香川大学・内藤宏仁、②⑦順天堂大学・永田政義、②⑧虎の門病院・林田迪剛、②⑨新潟大学・晝間楓、③⑩山梨大学・望月孝規、③⑪信州大学・塩崎政史、③⑫徳島大学・古川順也、③⑬埼玉医科大学総合医療センター・北山沙知、③⑭東京科学大学・田中一

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、検体等の提供者もしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒 -

病院（研究責任者）

電話番号： . . . （代表） FAX： . . .